

もつたないという精神

学校法人三木学園白陵中学校 三年

二宮 久香

突然ですが、みなさんはモノを大切にしていますか？ 普段何気なく使っているモノでも、それは誰かによって一生懸命作られていたり、もしくはあなた自身がお金を出して買っているでしょう。そんな身の回りのモノを大切にするというのは、単純そうでもなかなか難しいと思います。

私はモノを雑に扱うタイプなので、すぐにモノを壊したり水を出しっぱなしにしていたりで色んな人に怒られます。「大事にしなきゃいけない」と思っているつもりでも、つい使いすぎたりしてしまいます。そんな私の行為はきつと、「また買ってくれよ」とか「水はいつでも流れる」といった思いからきているのだと思います。でも、そんな甘い考えはいつも通用するわけではありません。もし自分の周りからすべてのモノがなくなったら、私はどうなってしまうのでしょうか。

東日本大震災が起こってから三年以上が経ちました。まだまだ東北では復興が続いています。震災が起こってからしばらく、原子力発電所の問題がとり上げられている頃、日本中が節電、節約、と言って日頃よりもモノを大切にしていたと思います。モノを大切にしている精神や人を思いやる心は日本だけでなく、世界でも称賛されていました。しかし、三年という月日が流れ復興がまだまだ続いていると言われていた中でも、震災当時ほどモノの大切さを意識する人は減ってきていると思います。震災を忘れてはいけなと言いつつも、節約のことを考えなくなってきた気がします。それは良いことなのでしょうか。確かに悲しい過去を振り返らず前を向いて歩き出す事は大事ですが、震災を忘れてそれまでのようにモノを扱ってはいけなと思います。震災当

時の気持ち薄れてきている今こそ、よりモノを大切にしなければいけないのではないのでしょうか。

しかし、モノを大切にすると何とでもどんな事に気をつけなければいのでしょうか。節約と言っても何も買わないわけにもいきません。これは私の考えですが、極力モノを買わないというのではなく、いつも使っているモノ、愛着があるモノを一生手放さないようなつもりで使えばいいのだと思います。そうすることで大切にされたモノもきつと長く働いてくれるだろうし、自分自身も気持ち良くモノを使える気がしませんか？

今の世の中は、モノを大量生産大量消費しています。モノがそこらじゅうに溢れているからこそ余計に、モノの大切さや重要さが薄れています。でも例えば古くなったモノを修理したりして再利用することで、値段も安くついて同じモノを長く使うことができます。できるだけお金を使わないという方法も、モノを大切にすることにつながると思います。

ここで私がみなさんに伝えたいのは、ただモノを大切にしなければならぬということではありません。今何でも買えたり使えたりする世の中で忘れかけられているもつたないという精神をとり戻してほしいということです。モノがあるということは、それを作る人がいてそれを使う人がいる。一生懸命作っている人に恥ずかしくないようなモノの使い方が出来ればいいですね。